

文京区立中学校

部活動地域移行 実施計画2026 (素案)

文京区立中学校部活動
地域移行実施計画2026
(素案)



文京区教育委員会

休日における部活動の

教員に頼らない指導体制の構築

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」

最終とりまとめ 令和7年5月16日

「改革実行期間」

前期：令和8～10年度

後期：令和11～13年度

休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。

重点戦略と取組

重点戦略 1

地域クラブ活動の土台作り

取組 1 休日の合同部活動の推進

重点戦略 3

生徒の豊かな活動の実現

取組 1 新たな種目での合同部活動

重点戦略 2

部活動の地域移行について理解促進

取組 1 教員の理解促進

取組 2 保護者・地域の理解促進

重点戦略と取組

重点戦略 1

地域クラブ活動の土台作り

取組 1 休日の合同部活動の推進

重点戦略 3

生徒の豊かな活動の実現

取組 1 新たな種目での合同部活動

重点戦略 2

部活動の地域移行について理解促進

取組 1 教員の理解促進

取組 2 保護者・地域の理解促進

休日の合同部活動実施に向けた児童・生徒アンケートの実施

●対象

区立小学校第6学年及び区立中学校第1・2学年

●回答期間

令和7年5月12日（月）から5月30日（金）まで

●回答率

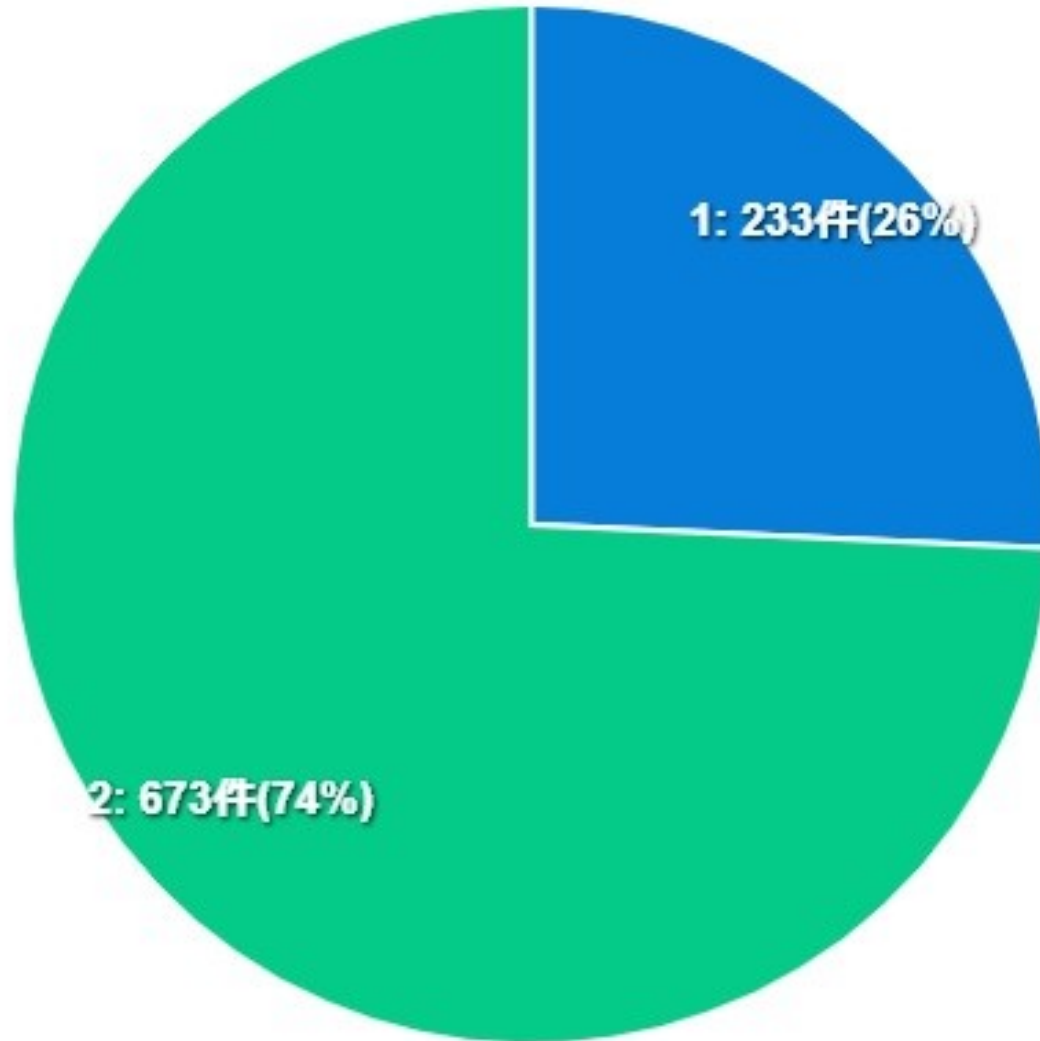
小6 70.0%

中1 58.5%

中2 48.3%

全体 62.3%

休日の部活動について運動部の合同部活動に参加したい
と思いますか。



- 1. ① 参加したいと思う。
- 2. ② 参加したいとは思わない。

アンケートの結果からわかったこと①

74%の児童・生徒が合同部活動の参加したくないと考えている

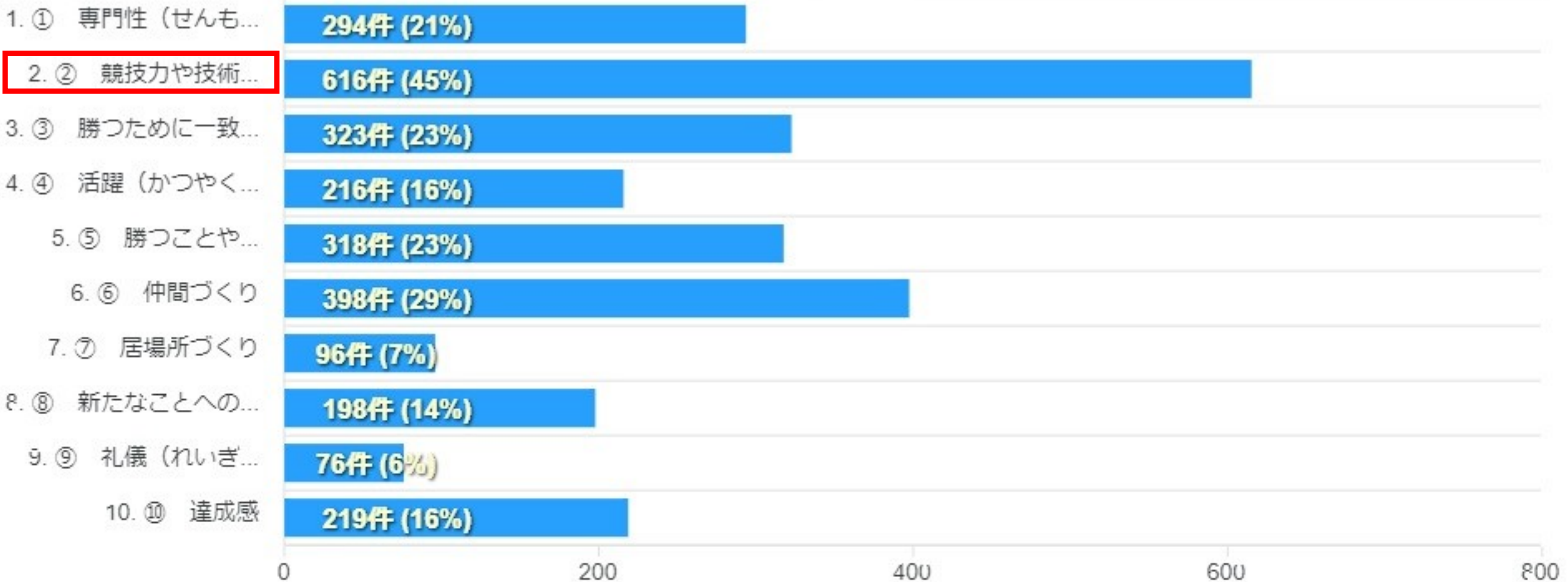
- 児童・生徒の興味・意欲を引き上げる必要がある。
- 小規模で楽しい取り組みから始め、効果を見ながら段階的に拡大するなど、進め方の工夫が必要。

アンケートの結果からわかったこと①

約75%の児童・生徒が合同部活動の参加したくないと考えている

→合同部活動参加の障壁になっているのが「新しい仲間作り」に対する懸念なので、合同部活動導入時には、アイスブレイク、グループゲーム、レクリエーション等を取り入れたたりするなどの工夫が必要。

休日の合同部活動に参加する場合、期待することは何ですか。



アンケートの結果からわかったこと①

休日の合同部活動に最も期待されていることは「競技力や技術の向上」

→有資格者など、優れた指導者を確保する。

令和8年度から休日の活動の運営及び指導者の派遣を外部委託（地域クラブ活動とする）

**持続
可能**

教員の負担軽減につながる

休日の合同部活動については全ての種目で外部委託し、有資格者またはそれに相当する指導者を配置する。

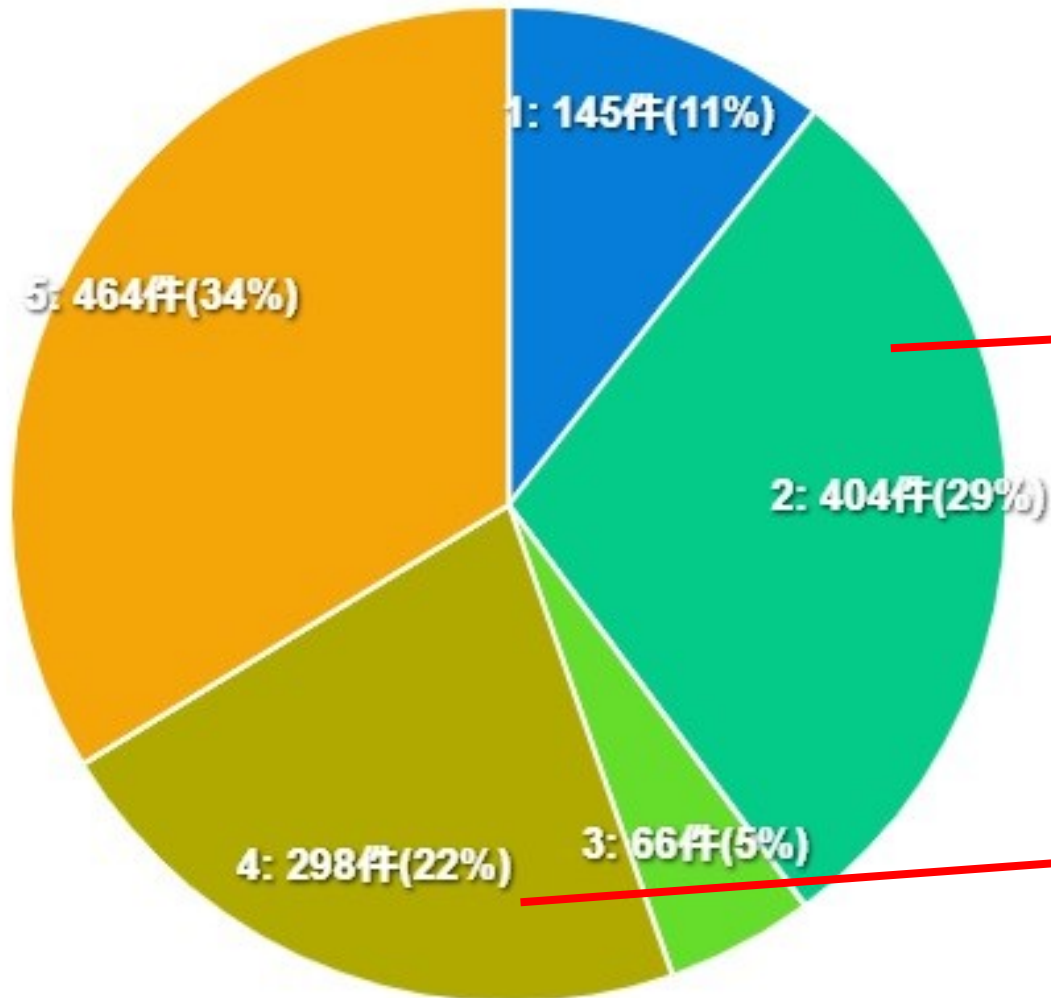
外部委託の例

サッカー	ソレイユFC
バドミントン	〇〇 Sports
陸上	〇〇RC
その他の種目	株式会社●●

協議事項 1

令和8年度から休日の活動の運営及び指導者の派遣を外部委託し全ての種目を地域クラブ活動とすることについて

令和8年度からの休日の部活動への参加の仕方として、次のうちどれがよいですか。



● 1. ① 平日とは違（ちが）う種目の合同部活動に参加する。

● 2. ② 平日と同じ種目の合同部活動に参加する。

● 3. ③ ①と同じだが、前期・後期で違（ちが）う種目の合同部活動に参加する。（シーズン制）

● 4. ④ 拠点校（きよてんこう）で行う合同部活動には参加しないで、平日を延長（えんちょう）する形で、同じ練習場で、同じメンバーと、同じ指導者による部活動に参加する。

● 5. ⑤ 休日は休みたい。

アンケートの結果からわかったこと③

合同部活動のタイプを選択する設問では、「種目は同じ」または「平日とまったく同じ」を望んでいる児童・生徒が約5割

- 休日の地域クラブ活動の実施は一律とせず、種目や学校の実態等に応じた柔軟な計画とする。
- 開始は、令和8年度の2学期からとする。

多様な休日の活動の形

A パターン

現状維持

B パターン

現状維持を原則とするが、オフシーズンなどに地域クラブ活動に参加する。

C パターン

地域クラブ活動に参加することを原則とする。大会直前など、状況に応じて地域クラブ活動に参加しないこともある。

Aパターン

現状維持

平日を延長する形で、同じ練習場で、同じメンバーと、同じ指導者による部活動に参加する。

月 火 水 木 金 土 日

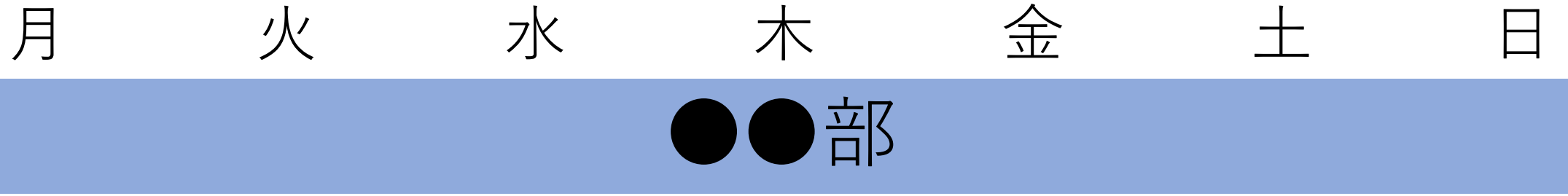
●●部

Bパターン

現状維持を原則とするが、オフシーズンなどに地域クラブ活動に参加する。

通常

平日を延長する形で、同じ練習場で、同じメンバーと、同じ指導者による部活動に参加する。



シーズン
オフ
等

拠点校に集まって、地域クラブ活動に参加する。

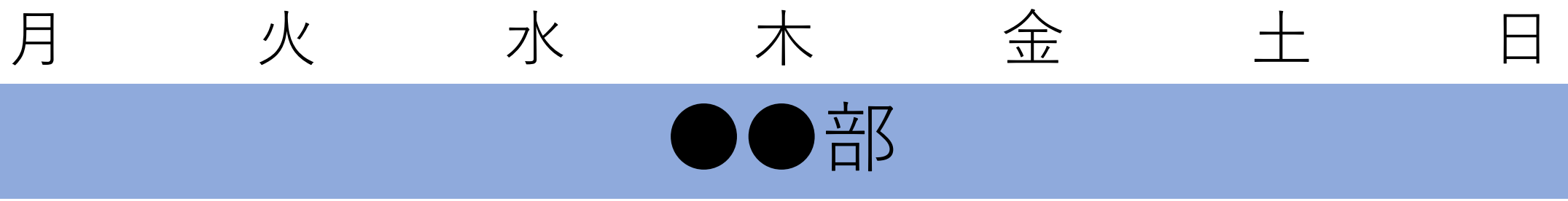


Bパターン

現状維持を原則とするが、オフシーズンなどに地域クラブ活動に参加する。

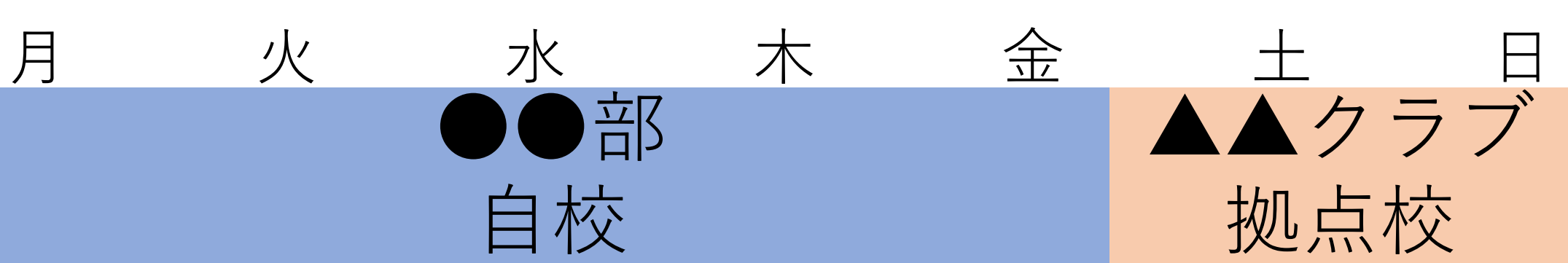
通常

平日を延長する形で、同じ練習場で、同じメンバーと、同じ指導者による部活動に参加する。



シーズンオフ等

拠点校に集まって、地域クラブ活動に参加する。



留意事項

1. 文化部からの地域クラブ活動への参加を可能とする。
2. 部としては地域クラブ活動に参加しないことを原則としていても、地域クラブ活動に参加を希望する生徒がいた場合それを妨げることはできない。

Cパターン

地域クラブ活動に参加することを原則とする。大会直前など、状況に応じて地域クラブ活動に参加しないこともある。

拠点校に集まって、地域クラブ活動に参加する。



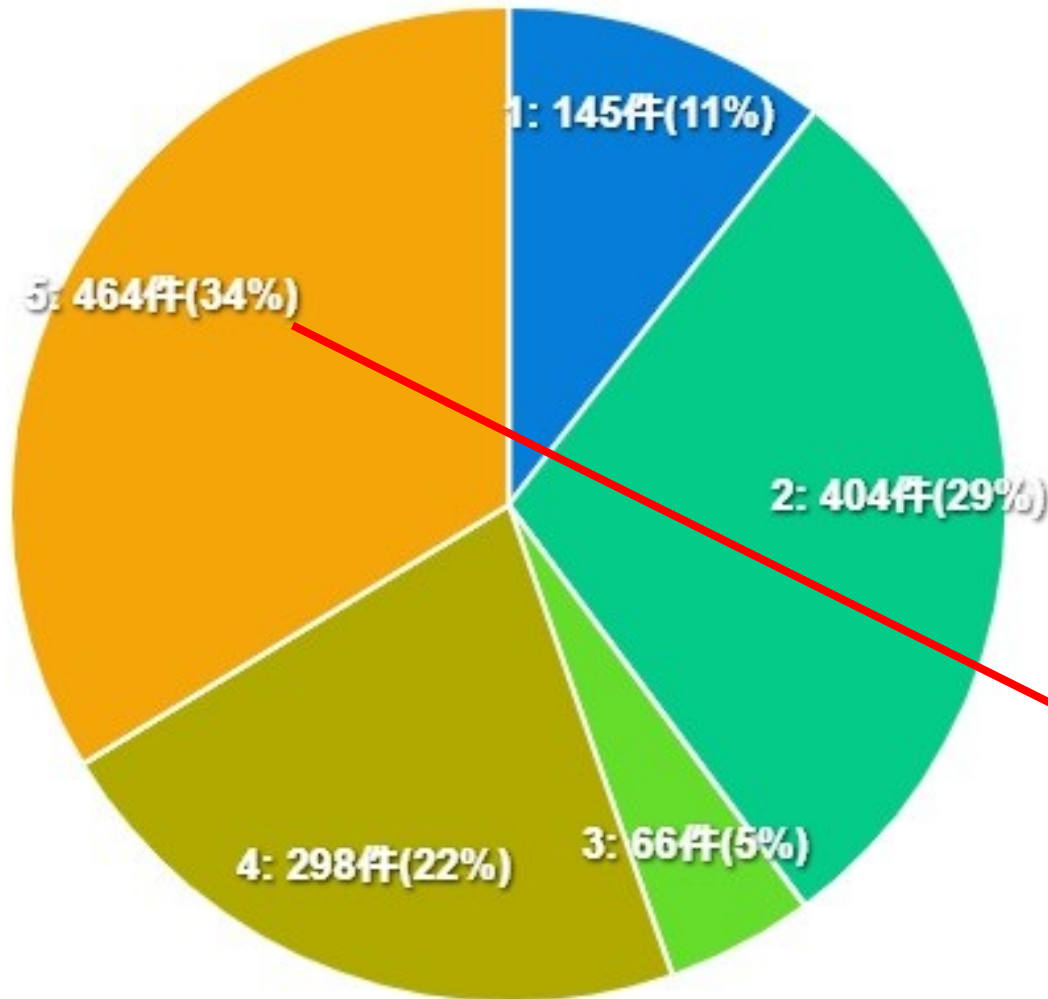
拠点校に集まって、地域クラブ活動に参加する。



協議事項 2

多様な休日の活動の形について

令和8年度からの休日の部活動への参加の仕方として、次のうちどれがよいですか。



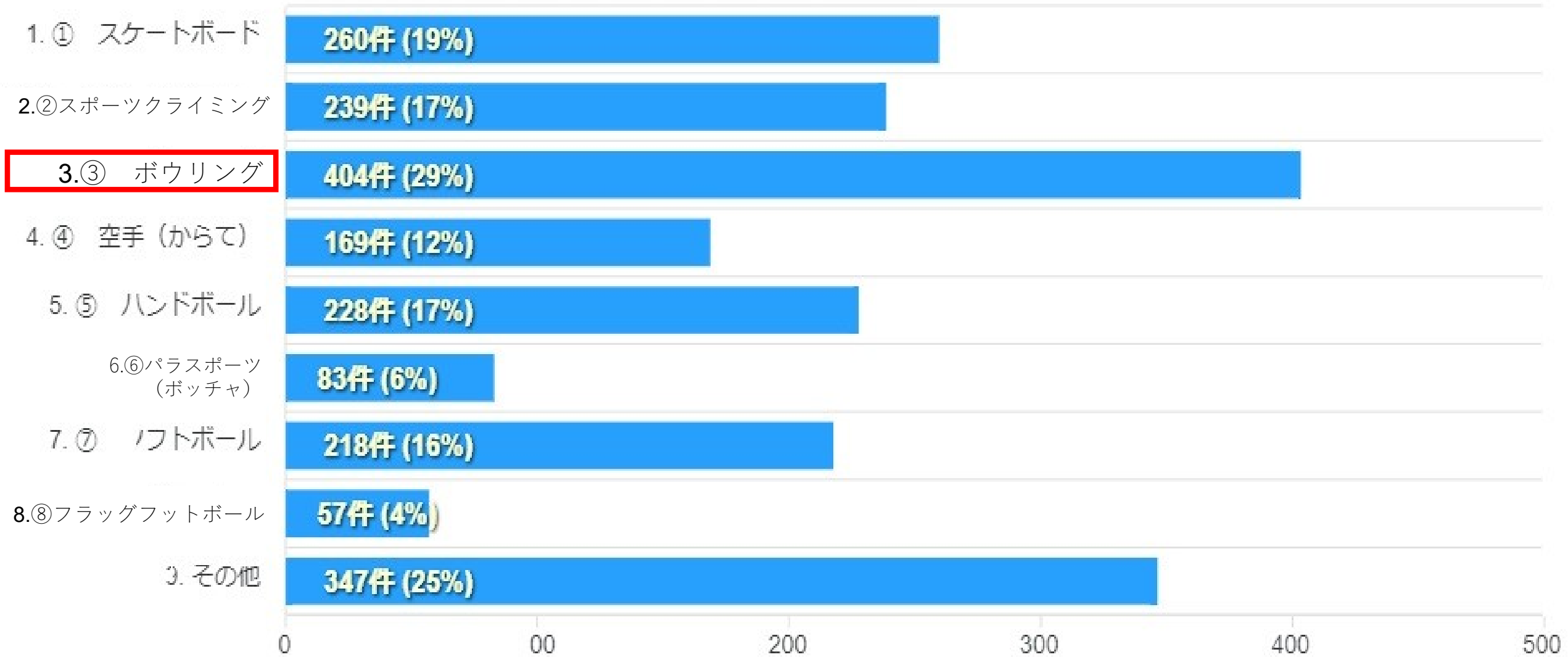
- 1. ① 平日とは違（ちが）う種目の合同部活動に参加する。
- 2. ② 平日と同じ種目の合同部活動に参加する。
- 3. ③ ①と同じだが、前期・後期で違（ちが）う種目の合同部活動に参加する。（シーズン制）
- 4. ④ 拠点校（きよてんこう）で行う合同部活動には参加しないで、平日を延長（えんちょう）する形で、同じ練習場で、同じメンバーと、同じ指導者による部活動に参加する。
- 5. ⑤ 休日は休みたい。

アンケートの結果からわかったこと④

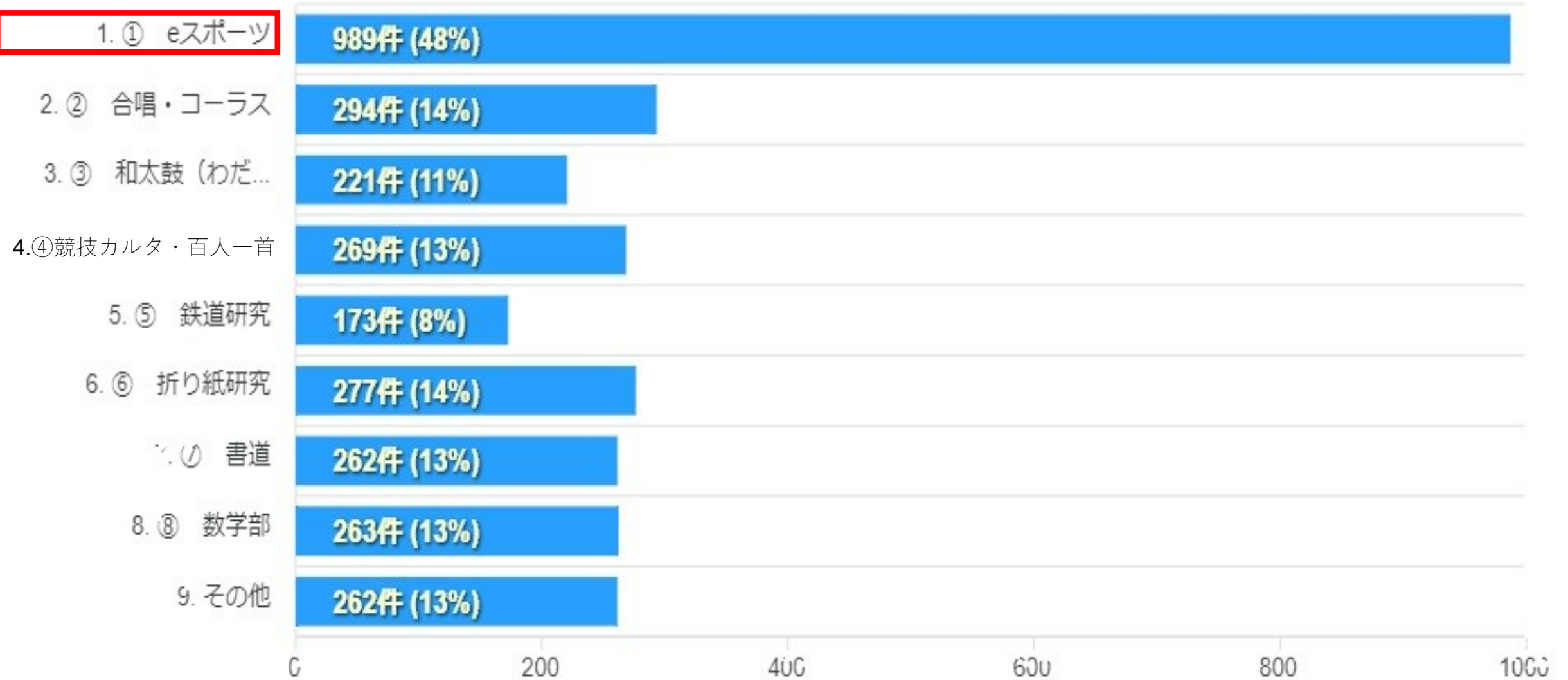
「休日は休みたい」と回答した児童生徒は約36%

→定期考査や長期休業中等は活動日としないなど、生徒にとって無理のない計画とする。

アンケートの結果（新たに設置してほしい運動部）



アンケートの結果（新たに設置してほしい文化部）



アンケートの結果からわかったこと⑤

新種目で一番人気は「ボウリング」と「eスポーツ」

- 地域クラブ活動として「ボウリングクラブ」の設置を検討していく。
- eスポーツクラブの設置についてもその可能性を探っていく。

休日のボウリング部への参加の仕方 例

月	火	水	木	金	土	日
	運動部		自校		ボウリング クラブ	

月	火	水	木	金	土	日
	文化部		自校		ボウリング クラブ	

月	火	水	木	金	土	日
					ボウリング クラブ	

ボウリング部がある中学校

渋谷区立笹塚中学校

本郷中学校

青陵中学校

ボウリングの大会①

文京区 区民ボウリング大会

主	催	文京区
主	管	文京区体育協会
運	営	文京区ボウリング連盟
開催	場所	東京ドームボウリングセンター
参加	資格	文京区在住、在勤、在学者 文京区ボウリング連盟の会員

ボウリングの大会②

東京都ジュニアボウリング選手権大会
(兼 全日本中学選手権大会 東京都予選会)

全日本中学ボウリング選手権大会

協議事項 3

新種目「ボウリングクラブ」の設置について

協議事項

- 1 令和8年度から休日の活動の運営及び指導者の派遣を外部委託し全ての種目を地域クラブ活動とすることについて
- 2 多様な休日の活動の形について
- 3 新種目「ボウリング」の設置について